

根室市のまちづくり・市政推進のために取り組むべき課題
都市基盤の充実と公共施設整備について

安全・安心に暮らすため、暮らし続けるためには都市基盤の整備・充実への取り組みと人口減少を見据えた将来的は維持管理や市民負担の在り方をしっかり整理しておかなければなりません。

議会議論としてもこれまで、長い目でみた都市デザイン・まちづくりの視点に立ち、鳥観図のごとくまちの未来像を示し、多くの市民の共感を得て、都市基盤の充実と公共施設整備に取り組むことが重要であると述べてきました。

現在、私たちの提案もあり、市は、まちづくりのためのグランドデザイン策定作業を行っており、次期総合計画策定に向け準備が進められています。

一方、現時点においても多くの公共施設の整備計画があり、今年12月に完成予定のふるさと遊びの広場をはじめ、現在実施設計が行われている新庁舎の整備、更には、中学校、高校の統合等に伴う市街地小中学校の移転統合など学校施設の整備、耐用年数が超えているじん芥焼却場の新設、地域会館の移転新築等々100億円を遥かに上回る公共施設整備が進められています。

現在、公共施設整備は公共施設総合管理計画により計画的な施設の更新と長寿命化等図り、将来的な財政負担の軽減、平準化と最適化を目指すこととされていますが、設定された目標値との乖離に注視しなければなりません。

現行計画でも人口減少を考慮した市民一人当たりの将来負担の推計値が示されています。

平成25年度の一人当たり負担額は5万1千円これが40年後には2.7倍の13万8千円に、上下水道、道路橋梁を含めると6万5千円が40年後には25万6千円と4倍になることが想定されており、100億円を遥かに上回る公共施設の整備推進にあたっては、財源対策や市民の将来負の見通し担等についての再精査（公共施設総合管理計画の見直し）が必要であり、そのチェックもしっかり行っていきたいと思います。

本田俊治と明日の根室をつくる会（討議資料）

http://nimuoro.lekumo.biz/tomorrow_nemuro/

mail : tomorrow.nemuro@gmail.com